看護技術のエビデンスの検証 医療技術・医療的ケアの安全性評価



工藤 由紀子 教授 博士 (保健学)

Yukiko Kudo

医学系研究科保健学専攻 看護学領域 基礎・地域看護学分野

研究キーワード

看護技術、エビデンス、医療技術、医療的ケア、安全性評価

研究概要

手浴やハンドマッサージなどの看護技術が対象 に及ぼす影響を、体温や自律神経活動などの生 理学的指標および快適感などの主観的な視点か ら総合的に検証する研究を実施している。

- I. 手浴の効果を皮膚温と自律神経活動および 快適感で評価
- 【結果】・手浴群で0.5~1℃の皮膚温上昇と、 30分程度の温熱保持効果が認められた
 - ・対象の主観的快適感が上昇した
- Ⅱ. 睡眠障害のある高齢女性に対し、夕方に手浴 +ハンドマッサージの介入を実施。

睡眠をアクチグラフとOSA-MAで、リラクセーションを自律神経活動とREスケールで評価

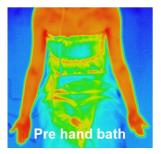
- 【結果】・介入群で睡眠効率が良い
 - ・介入群で寝付く時間が早い
 - 介入後の心拍数低下、快適感の上昇

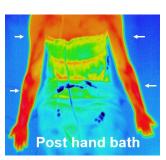
予想される応用例

健康増進、高齢者の睡眠改善

医療技術・医療的ケアの安全性評価など

※お問い合わせは秋田大学 産学連携推進機構まで





サーモグラフィによる手浴後の皮膚温の変化

ABLE 4 Age-adjusted correlation coefficients (r) between changes in autonomic nervous activity indexes and visual analog scales and

	HRT		SDNN		RMSSD		HF		LF/HF	
	r	p	r	p	r	p	r	p	r	p
Visual analog scale										
Feel good	244	0.22	103	0.609	328	0.095	185	0.356	0.056	0.783
Warm	0.062	0.759	0.098	0.626	116	0.565	142	0.479	0.111	0.582
Sleepy	0.098	0.626	0.207	0.301	0.436	0.023	0.509	0.007	338	0.084
RE scale										
Factor 1: "Feel high" to "feel at ease"	339	0.078	270	0.164	086	0.665	0.09	0.648	0.063	0.751
Factor 2: "Feel tension in the body" to "feel loose"	326	0.09	035	0.86	0.151	0.444	0.412	0.03	006	0.977
Factor 3: "Feel anxious" to "feel relieved"	404	0.033	047	0.812	212	0.279	0.058	0.77	0.159	0.418
Factor 4: "Feel straitjacketed" to "feel expansive"	368	0.054	0.236	0.227	0.058	0.769	0.323	0.094	0.169	0.391

Abbreviations: HF, high frequency, HRT, heart rate; LF/HF, low frequency/high frequency; RMSSD, root-mean-square of successive differences of the

自律神経活動とVAS・REスケールの偏相関

産業界へのアピールポイント

最近では介護施設における吸引や経管栄養等の医療技術・医療的ケアの安全性評価に関する研究をはじめました。

医学系研究科保健学専攻 基礎・地域看護学分野 研究室ホームページ:https://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/graduate_school/master/

